

# 令和3年度 消防長「政策宣言」中間報告

消防長 木田 徹

## ○ 令和3年度重要事業

事業名	住宅防火の推進
目標	女性消防団員や女性防火クラブ員による駅や商業施設での防火指導を通じて、住宅用火災警報器の適切な維持管理やコンロ・タバコなどの火災原因に応じた出火防止対策を周知するなど、効果的な啓発活動を推進します。
進捗状況	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により多くの活動が制限されましたが、防火クラブ員の研修を実施して知識の向上を図り、今後の活動の推進に努めました。
今後の対応	秋の火災予防運動に合わせて、通勤時間帯の駅や停留所と大型店舗で住宅用火災警報器の維持管理など、火災予防の啓発活動を行います。

事業名	救命率の向上
目標	市民に対する予防救急の推進を図るとともに、応急手当の普及啓発、高度な救命処置が行える救急救命士の養成など救急救命体制強化を図り、救命の連鎖を強固にします。
進捗状況	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、少人数での応急手当普及講習しかできず、例年と比べると少ない回数しか開催できませんでした。 また、救急救命体制の強化では、心肺停止前に血管から薬剤の投与ができる救急救命士を4名と、気道の中へチューブを挿入して人工呼吸ができる救急救命士を1名養成し、特定行為ができる救急救命士を増員しました。
今後の対応	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いながら、応急手当の普及啓発に努めるとともに、救急救命士の特定行為と合わせて救命の連鎖を強固にして、救命率の向上に努めます。

事業名	大規模災害への対応力の強化
目標	日常生活を脅かす火災や事故等の災害はもとより、今後発生が危惧される巨大地震や風水害等の大規模災害に対応し、市民一人ひとりがこれに備え、発生時に的確に対応することができるよう、自主防災訓練等を通じて災害対応力の強化を図ります。
進捗状況	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により自主防災訓練が開催されませんでした。消防団員の研修を行い、今後自主防災訓練等が開催されたときには、市民への適切な指導ができるように指導力の強化に努めました。

<b>今後の対応</b>	新型コロナウイルス感染症対策の警戒レベルがステージ 1 に移行したことを踏まえて、今後開催される自主防災訓練等を通じて、巨大地震や風水害等の大規模災害への災害対応力の強化を図ります。
--------------	---